

安全データシート

作成 2010年7月16日

改訂 2024年4月1日

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	アサヒボンド 507 主剤
会社名称	アサヒボンド工業株式会社
住所	東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門	営業部
電話番号	(03)3972-4929
FAX番号	(03)3972-4583
推奨用途	タイルの接着に限る。
整理番号	11021

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しないまたは分類できない	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1（呼吸器）
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1（呼吸器）
誤えん有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起後

危険

危険有害性情報

(H315) 皮膚刺激
(H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
(H319) 強い眼刺激
(H341) 遺伝性疾患のおそれの疑い
(H372) 長期にわたる又は反復暴露による呼吸器の障害
(H411) 長期継続的影響によって水生生物に毒性

(H351) 発がんのおそれの疑い

(H413) 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

(P201) 使用前に取扱説明書を入手すること。

(P202) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

(P261) 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。

(P264) 取扱い後は手をよく洗うこと。

(P270) この製品を使用する時に、飲食/喫煙しないこと

(P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

(P273) 環境への放出を避けること。

(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

(P302+P352) 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

(P304+P340) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

(P305+P351+P338) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P308+P313) 曝露又は曝露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

(P314) 気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること

(P321) 特別な処置が必要である。

(P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

(P333+P313) 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

(P337+P313) 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

(P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

(P391) 漏出物を回収すること。

【保管】 (P403) 換気の良い場所で保管すること

(P404) 容器を密閉しておくこと

(P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】 (P501) 内容物や容器は国・地方の許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 パテ状ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

危険有害成分	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	20 ~ 24	25068-38-6	(7)-1279(化審法)
1,2-エポキシ-3-(トリオキシ)プロパン	5 ~ 6	26447-14-3	(3)-574, (3)-594(化審法)
エポキシ樹脂	5 ~ 10	記載在り	既存
酸化チタン(IV)	1 ~ 2	13463-67-7	(1)-558 (化審法)

タルク	20 ～ 30	14807-96-6	天然物扱い
無機化合物	30 ～ 40	記載在り	既存

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	汚染された衣類と靴を脱ぎ、直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	泡消火剤、乾燥砂、噴霧水。
特有の消火方法	
周辺火災の場合	移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
着火した場合	火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火する。
消火を行う者の保護	火災により有害ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法令に準拠して作業する。	
人体に対する注意事項	作業者は保護具（曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し風上で作業する。
保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。 漏出した場所の周囲にはロープを張る等して、関係者以外の立入を禁止する。
環境に対する注意事項	漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
回収・中和	漏出物を密閉可能な容器にできる限り集める。 残留物は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。後で廃棄処理する。回収するときは、火花の出ない器具を用いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	付近の着火源を速やかに取り除く。 漏出した場所の周囲には関係者以外の立入を禁止する。 万一、河川公共水路等に流込した場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

関係法令に準拠して作業する。	
取扱い	
技術的対策	「8. ばく防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項	眼、皮膚との接触を避けること。ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。取扱い後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。
接触回避	データなし。
衛生対策	取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保管	
接触禁止物質	データなし。
保管条件	酸化剤から離して保管する。
容器包装材料	データなし。

8. 曝露防止及び保護措置

許容濃度(曝露限界値、生物学的指標)

日本産業衛生学会(2018年度版) タルク 吸入性粉塵 0.5mg/m³、総粉塵 2mg/m³
無機化合物 第3種粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³

A C G I H(2007年度版) タルク TLV-TWA 2mg/m³

設備対策 貯蔵ないし取扱う作業場には安全シャワー及び洗眼器を設置すること。
特別な換気要求事項はない。

保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。
眼、眼面の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	白色パテ状固体
臭い	僅かなエーテル臭
pH	データなし。
融点/凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし。
引火点	185℃(推定)
爆発限界	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
比重	1.6 ~ 1.7 (23/23℃)
溶解度	芳香族炭化水素系溶剤、ケトン等の有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
臭いの閾値	データなし。

蒸発速度	データなし。
燃焼性(固体・ガス)	該当しない。

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害性反応可能性	データなし。
避けるべき条件	データなし。
混触危険物質	データなし。
危険有害な分解性生物	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	区分に該当しない。 以下の区分の急性毒性/経口の物質を含む。 区分に該当しない ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 ラット LD50 11,400mg/kg 区分に該当しない タルク ラット LD50 >5,000mg/kg
急性毒性(経皮)	分類できない。
急性毒性(吸入)	分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2) 以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。 区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	強い眼刺激(区分2A) 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性の物質を含む。 区分2A ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
呼吸器感受性又は 皮膚感受性	呼吸器感受性:分類できない。 皮膚感受性:アレルギー皮膚反応を起こすおそれ(区分1) 以下の区分の皮膚感受性の物質を含む。 区分1 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
生殖細胞変異原性	区分2 以下の区分の生殖細胞変異原性の物質を含む。 区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
発がん性	区分2 酸化チタン
生殖毒性	分類できない。 以下の区分の生殖毒性の物質を含む。 分類できない。 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)
吸引性呼吸器有害性	分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	水生生物に毒性(区分2)
-----------	--------------

以下の区分の水生環境急性有害性の物質を含む。

区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

甲殻類 オキシニコ EC50(48時間) 1.7mg/L

水溶解度 0.041mg/L

水生環境慢性有害性

長期継続的影響によって水生生物に毒性(区分2)

以下の区分の水生環境慢性有害性の物質を含む。

区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

残留性・分解性 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 難分解性：BOD分解度0%

生態蓄積性 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 低濃縮性：BCF<42

オゾン層への有害性

本製品はモントリオール議定書の付属書にリストされていないため該当しない。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器を清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

1.4. 輸送上の注意

国際規則

航空輸送はIATA、及び海上輸送はINDGの規則に従う。

国連分類

クラス9

国連番号

3077 環境有害物質(固体)

国内規制

陸上輸送

消防法に従う。

海上輸送

船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送

航空法に定められている運送方法に従う。

特別の安全対策

保護具、消火器を携帯する。

必要であれば、イエローカードを携帯する。

容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、破損が無いように積載し荷崩れ防止を確実にを行う。

1.5. 適用法令

消防法

危険物に該当しない。

化学物質管理促進法(PRTR法) 1,2-エポキシ-3-(トリオキシ)プロパン(含有重量5.5%、第2種指定化学物質)

劇物毒物取締法

非該当

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物質 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂、酸化チタン(IV)、タルク

名称等を表示すべき有害物質	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂、酸化チタン(IV)、タルク
がん原性がある物	酸化チタン(IV) (CLP 規制：区分2 吸入、GHS：区分2)
皮膚等障害化学物質	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
変異原性が認められた物質	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (平成9年12月24日 労働基準局長通達 基発第770号の2) 1,2-エポキシ-3-(トリメチルプロパノ) (労働基準局長通達)
労働基準法	
感作性物質の指定	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (平成8年3月29日労働基準局長通達 基発第182号)
疾病化学物質の指定	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 (第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1・昭53労告36号)
船舶安全法	危規則告示別表第1(有害物質) 容器等級Ⅲ
海洋汚染防止法	ビスフェノールAエポキシ樹脂(X類)、酸化チタン(IV)(Z類)
航空法	施行規則告示別表第1(有害性物質) 等級Ⅲ
輸出貿易管理令	該当する(キャッチオール規制対象品)。

16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7253(2019)
- 2) 原料メーカー発行の安全性データシート
- 3) 日本化学工業会「緊急時応急措置指針」

「記載内容の取扱い」

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用を前提としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上ご利用下さい。